

ティーン  
TYIN テーネステュエ・アーキテクト展  
Human - Architecture

2014年7月10日（木）～9月20日（土）

会場＝TOTO ギャラリー・間（東京都港区南青山1-24-3 TOTO 乃木坂ビル 3F）

休館日＝日曜・月曜・祝日・夏期休暇8月9日（土）～18日（月）

開館時間＝11:00～18:00

入場無料

講演会：2014年7月10日（木）18:30～

事前申込制 会場＝津田ホール（東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24）



セイフ・ヘイヴン孤児院の浴場（タイ、ターク、バーン・ター・ソーン・ヤーン）2009

© Pasi Aalto

---

## TYIN テーネステュエ・アーキテクト展について

---

TOTO ギャラリー・間では、ノルウェーを拠点に活動する若手建築家ユニット<sup>ティーン</sup>TYINテーネステュエ・アーキテクト（アンドレア・G・ゲールセン、ヤシャー・ハNSTADT）による展覧会を開催します。

2007年、ノルウェー科学技術大学（NTNU）の学生であったアンドレアとヤシャーは、学内コンペで勝ち取った、学生組合会館（レントホール）の入口ホールの改修というプロジェクトを進めるうちに、潤沢な予算を費やしたデザイン重視の建築に対して疑問を感じ、自分たちの可能性を求めて、タイに乗り込みました。

タイでは、紛争地域に孤児院をつくるプロジェクトを進める中で試行錯誤しながら、地域住民による作業に自らも加わり、地元で調達した材料と工法を使って建築をつくりあげるといった建築手法を見出してきました。「建築は地域の人々の暮らしをより良くする資源」と考える彼らは、毎回現場でワークショップを行い、時にはノルウェーからNTNUの教員や学生が加わりながら、地元の人々との共同作業によるプロジェクトを実現しています。地域の人々の思いを汲み、自分たちの考えを都度、軌道修正するという「つくりながら考える」手法により、地域に根ざし、社会的持続性をもった建築をつくり上げています。これによりTYINは国際的に高い評価を受け、2012年グローバル・サステイナブル建築賞を受賞しています。

現在はトロンハイムを拠点に母校NTNUで教鞭をとりながら、住宅やランドスケープ、インテリアなど、活動の幅を広げています。アジアで確立した彼らのアプローチは、各地でのプロジェクトやワークショップ、教育活動に展開されています。

本展では、そうした彼らの実践的な建築スタイルから生まれたプロジェクトを模型、写真、映像で紹介するとともに、建築を成り立たせるための不可欠な資源として彼らが「Human Toolkit」（TYINによる造語）と呼ぶ、プロジェクトに関わったさまざまな人々とのネットワークにも、焦点をあてます。

---

## 展覧会情報

---

展覧会名（日）	<sup>ティーン</sup> TYINテーネステュエ・アーキテクト展 Human - Architecture
展覧会名（英）	TYIN tegnestue Architects: Human - Architecture
会期	2014年7月10日（木）～9月20日（土）
開館時間	11:00～18:00
休館日	日曜・月曜・祝日・夏期休暇8月9日（土）～18日（月）
入場料	無料
会場	TOTO ギャラリー・間 〒107-0062 東京都港区南青山1-24-3 TOTO 乃木坂ビル 3F TEL=03-3402-1010 URL= <a href="http://www.toto.co.jp/gallerma/">www.toto.co.jp/gallerma/</a>
交通案内	東京メトロ千代田線 乃木坂駅3番出口徒歩1分 都営地下鉄大江戸線 六本木駅7番出口徒歩6分 東京メトロ日比谷線 六本木駅4a番出口徒歩7分 東京メトロ銀座線・半蔵門線・都営地下鉄大江戸線 青山一丁目駅4番出口徒歩7分
主催	TOTO ギャラリー・間
企画	TOTO ギャラリー・間運営委員会 特別顧問：安藤忠雄 委員：岸和郎／内藤廣／原研哉／エルウィン・ビライ
後援	（一社）東京建築士会／（一社）東京都建築士事務所協会／（公社）日本建築家協会 関東甲信越支部／（一社）日本建築学会関東支部
特別後援	駐日ノルウェー王国大使館

---

## 建築家紹介

---

TYIN テーネステュエ・アーキテクツによる展覧会コンセプト文

Human - Architecture

建築は、多くの人に開かれたものだと思う。ひとりでこつこつとデザインを描き上げたあげく、その実現を見届けもせずにあっさり手放してしまうような建築家もいるが、私たちにはとうていそんな真似はできない。むしろ自分たちのアイデアやデザインが、雑ばくな理論でしかないようなものから、やがて実体を伴った構築物として、この世に実現されるまでの道のりの中で、どのように変わっていくかを見届けたい。

まさにこの道のりを通じて、建築はつくられてゆく。たとえば世の中の現実からさまざまな要望や機会を与えられ、それに応えていくことによって。関わった人びとの間で揉まれるうちに、未熟だったアイデアが成熟していくにつれて。そして、私たちが手を動かしてデザインを構造体に近づけるにつれて。建築とはそもそも二元的なもので、その物質的側面と社会的側面とが車の両輪のように分かちがたく並存し、全体をかたちづくっている。これは、私たちが建築の仕事を通じて得た、唯一最大の知見かもしれない。

本展では、私たちの仕事の根幹をなしているもの、つまり私たちが拠り所としている理念、そして私たちが行き着いた自由で柔軟なプロセスをお見せしたい。原寸大の模型と写真を通じて、初期の「バタフライ・ハウス」からノルウェー国内で手がけた最新のプロジェクトに至るまでの仕事を具体的に紹介する。また模型や写真と併せて、TYIN の仲間や友人たちも紹介したい。彼らは、それぞれの専門的な職能を代表している人たちである。人的なネットワークが重要な「ツール」である TYIN の仕事にとって、彼らの存在はかけがえなく貴重なものなのだ。

本展を、こうした仲間や学生たち、実務を担った職人たち、そしてそれぞれの地域のコミュニティに捧げる。彼らの力なしにはどのプロジェクトも実現しえなかった。建築はこの先、個々の建築家の手を離れてそれに関わったすべての人びとの手と心と思いを通じて熟成していき、そしてその真価を発揮していくことになるだろう。

TYIN テーネステュエ・アーキテクツ

TYIN テーネステュエ・アーキテクツ

TYIN tegnestue Architects

2008年設立。ノルウェーのトロンハイムに拠点を置き、アンドレア・G・ゲールセン（1981年、ノルウェー、トロンハイム生まれ）とヤシャー・ハンスタッド（1982年、イラン、テヘラン生まれ）により運営されている。Global Award for Sustainable Architecture 金賞（2012年）をはじめ、ノルウェー、スウェーデン、英国、イタリア、タイなどで数々の建築賞を受賞。現在、トロンハイムのノルウェー科学技術大学（NTNU）で実践を通じた教育活動を行うほか、世界各地で講演や展覧会、ワークショップを行っている。作品に「セイフ・ヘイヴン孤児院の浴場と図書室」（2009年、タイ）、「アウレ郊外のポートハウス」（2010-11年、ノルウェー）、「カッシア・コープ・トレーニングセンター」（2011年、インドネシア）などがある。



右：アンドレア・G・ゲールセン、  
左：ヤシャー・ハンスタッド © Pasi Aalto

---

## 展覧会の見どころ

---

### [1] 「Human Toolkit」

TYIN テーネステュエ・アーキテクツの建築は、アイデアから完成までの過程で、ワークショップやプロジェクトに関わるさまざまな人とのコミュニケーションにより、深化を遂げ、成長していきます。TYINはこの人的ネットワークを「Human Toolkit」と名づけ、プロジェクトに大きく影響する重要な構成要素と考えています。本展では、「Human Toolkit」を切り口に、TYINの建築思想、スタイルを紹介します。処女作「バタフライ・ハウス」(タイ、2009)をはじめ、ノルウェーの景勝地に建つ展望台「リスタの光」(ノルウェー、2013)、初の商業建築であるトロンハイムの免税店「TRD ハイネマン」(ノルウェー、2014)など近作プロジェクトまで紹介します。

### [2] 映像

会場では、アンドレア・G・ゲールセン、ヤシャー・ハンスタッドによるインタビュー映像を公開し、TYIN テーネステュエ・アーキテクツのこれまでの活動、建築思想を紹介します。

また、初期のワークショップから共同作業を経て完成までの過程を記録した映像で、各プロジェクトのストーリーを体感いただきます。

---

## 関連プログラム

---

### TYIN テーネステュエ・アーキテクツ講演会

#### People Projects Processes

日時	2014年7月10日(木) 17:30開場、18:30開演、20:30終演(予定)
会場	津田ホール(東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24)
定員	490名
参加費	無料
参加方法	事前申込制: 申込期間内にウェブサイトよりお申し込みください。 URL= <a href="http://www.toto.co.jp/gallerma/">www.toto.co.jp/gallerma/</a> 抽選の上、2014年7月3日(木)までに結果をご連絡いたします。
お申込期間	2014年5月16日(金)~6月25日(水)

---

## 関連書籍

---

### 『ビハインド・ザ・ラインズ TYIN テーネステュエ』

著者	TYIN テーネステュエ・アーキテクツ
発行日	2014年7月9日
体裁	A5判変型(148×210)並製、240頁、和英併記
発行	TOTO出版(TEL=03-3402-7138 URL= <a href="http://www.toto.co.jp/publishing/">www.toto.co.jp/publishing/</a> )



[1] 現場で働く TYIN テーネステュエ・アーキテク  
ツの二人

©Andreas Skeide



[2] バタフライ・ハウス（外観）

（タイ、ターク、ヌポ）2009

© Pasi Aalto



[3] バタフライ・ハウス

地元の作業員と作業を行うTYINのふたり  
（タイ、ターク、ヌポ）2009

© Pasi Aalto



[4] バタフライ・ハウス

バタフライ・ハウスで暮らす子どもたち  
（タイ、ターク、ヌポ）2009

© Pasi Aalto





[5] セイフ・ハイヴン孤児院の浴場（外観）  
（タイ、ターク、バーン・ター・ソーン・ヤーン）  
2009 © Pasi Aalto



[6] セイフ・ハイヴン孤児院の浴場  
ルビー（3歳）の入浴を世話するテサニー（セイフ・  
ハイヴンの女主人）  
（タイ、ターク、バーン・ター・ソーン・ヤーン）  
2009 © Pasi Aalto



[7] セイフ・ハイヴン孤児院の図書室  
手前に孤児院の図書室、奥に浴場を臨む  
（タイ、ターク、バーン・ター・ソーン・ヤーン）  
2009 © Pasi Aalto



[8] セイフ・ハイヴン孤児院の図書室  
完成した図書室にて孤児たちに読み聞かせをする  
（タイ、ターク、バーン・ター・ソーン・ヤーン）  
2009 © Pasi Aalto



[9] クロントウーイ・コミュニティ・ランタン  
スラムの中にできた遊び場にて活発に遊ぶ地元の  
子どもたち  
(タイ、バンコク、クロントウーイ) 2011  
© TYIN tegnestue Architects



[10] カシア・コープ・トレーニングセンター  
建設に関わった地元の人々やNTNUの学生たちとと  
もに  
(インドネシア、スマトラ島、クリンチ、スンガイ  
ペヌ) 2011 © Pasi Aalto



[11] アウレ郊外のボートハウス  
ボートハウスの改築  
(ノルウェー、ムーレ・オグ・ロムスダール、アウ  
レ)  
2011 © Pasi Aalto



[12] リスタの光  
学生との共同作業により完成した景勝地の展望台  
(ノルウェー、ファーシュン、リスタ)  
2013 © Pasi Aalto